

Crescendo

M E D I K I T A R T S C E N T E R くれっしえんど

vol. **132**
2018 10月



協力：リユース・ドゥ・プランタン 宮崎県宮崎市船塚 2丁目72

 **メディキット 県民文化センター**
MEDIKIT ARTS CENTER

目次

**松原正幸さんに聞く
最強×最高による演奏会**

**けんげき25フェス 直前情報
チラシがでかあがるまで
演劇ホールの裏側**

大嶋義実さんが語る 東欧とその魅力

**大塚直哉さんとソリストに聞く
メサイアってどんな作品？**



©Kaupo Kikkas ©Michael Patrick O Leary
ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団



けんげき25フェス



シリーズ<大人のためのコンサート～なるほどクラシック講座>vol.7
東欧の底力！～音楽史を支えた東欧の音楽家たち～



オルガンとその仲間たちシリーズ2018 メサイア



現代最強の指揮者
パーヴォ・ヤルヴィ



UMKクラシックス Die Deutsche Kammerphilharmonie Bremen

ドイツ・カンマーフィル ハーモニー管弦楽団

いま最も勢いのある指揮者、パーヴォ・ヤルヴィが、従来の解釈を超えるパフォーマンスで絶賛を受けている少数精鋭のオーケストラ、ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団を率いて宮崎にやってきます。ソリストは、現代最高と謳われるヴァイオリン界の女王、ヒラリー・ハーン。

この最強タッグによる演奏会について、長年トロンボーン奏者としてオーケストラに携わってきた松原正幸さんに、お話を伺いました。

📍 **松原さんは長年トロンボーン奏者として活躍されていましたが、大のクラシックファンでもあるんですね。**

年に何十回も公演を聴きに行くほどのオーケストラ好きです。特にベルリンフィルの大ファンで、僕は20年間読売日本交響楽団の奏者だったんですけど、カラヤン指揮のベルリンフィルのレコーディングに参加したことがあります。彼の指揮は全く別物でした。ベルリンフィルは彼とタッグを組んだとき、ただでさえ素晴らしい演奏

のレベルが、ぐんとあがるんですね。それくらい、指揮者とオケの関係というのは重要なんです。

📍 **今回指揮を務めるパーヴォ・ヤルヴィは、「現代最強の指揮者」との呼び声も高いですが、どのような指揮者なのでしょうか。**

世界的に人気があり、いま絶好調の指揮者です。彼のお父さんもネーメ・ヤルヴィというとても有名な指揮者で、親子揃って世界を相手に成功している数少ない指揮者でもあります。初めてヤルヴィの指揮を聴いたのは2014年12月の東京オペラシティで、今回と同じドイツ・カンマーの演奏会でした。それが本当にすばらしくて。彼は何でも振れる指揮者なんですけど、常に完璧。だけれども、完璧にありがちなクールな演奏では決してなく、とても熱い演奏をします。それがオケに全て伝わってくる素晴らしい指揮者です。

ストラの音は好きです。カンマー（室内楽）というだけあって、40人ちょっとのオーケストラなんですが、全然違うんですよ。語弊があるかもしれないのですが、こぢんまりとまとめあげるような室内楽では決してなくて、ひとりひとりが全開で演奏するんです。それを導くのがヤルヴィの力なんですよ。

📍 **ヤルヴィとドイツ・カンマーは、まさに「最強タッグ」ですね。**

そのとおりです。大きいオーケストラでは鷹揚（おうよう）になりがちなところを、本当に緻密に精度の高いまま演奏されるので、同じブラームスの曲でも、このヤルヴィとの組み合わせで聴くとこんな音がするのか！という驚きがいっぱいあります。この組み合わせだからこそですね。しかも、ベートーヴェンやシューマンなどの古典的なプログラムを中心に演奏を重ねているので、今回のよ



松原正幸さん

延岡市出身。武蔵野音楽大学器楽学科トロンボーン専攻卒業後、東京シティフィルハーモニック管弦楽団へ入団。その後、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団ソロトロンボーン奏者故ヨハン・ドムス教授の招きで西ドイツ（当時）ベルリン芸術大学大学院へ留学。帰国後は読売日本交響楽団で20年以上奏者として活躍。日本トロンボーン協会発足時より常任理事を務める。現在、宮崎県トロンボーン協会会長、延岡フィルハーモニー管弦楽団アドバイザー。

📍 **少数ながら、パフォーマンスが絶賛を受けているドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団についてはいかがでしょうか？**

僕はどちらかというと、ベルリンフィルのように大編成の圧倒的な音でくるオーケストラが大好きなんですけど、このオーケ





現代最高のヴァイオリニスト ヒラリー・ハーン

うなプログラムの演奏会では一番強みを発揮すると思います。

📍現代最高のヴァイオリニストと謳われる ヒラリー・ハーンについても教えてください。

僕がずっと聴きたかったヴァイオリニストの一人です。古典から現代曲まで何でも弾ける、レパートリーの広い演奏家です。演奏はたくさんCD等で聴いているんですけど、実は生で聴いたことは一度もなくて。彼女の演奏は、線が繊細で、強くて、そして澄んでいるんですよ。澄み切った音で、ずっとみだれないというか。すごい力の持ち主だし、集中が全く途切れません。それからとても美しい方ですね。東京で予定されているソリサイタルは完売していますし、今世界で一番人気のあるヴァイオリニストの一人ということは間違いないです。個人的に、なかなか聴くチャンスがなかったもので、宮崎で聴けるかと思うと本当に、本当に嬉しいです(笑)。この人のヴァイオリンを聴いたら、誰もがいいなと思えるほどいい演奏をしますよ。

📍今回のプログラムは、いかがでしょうか？

「ザ・グレート」は50分以上ある、その名のとおり「壮大な」曲です。序奏でホルン2本のユニゾンでとてもおだやかな

テーマからゆるやかに入っていった、その後アレグロの動きのある展開になる…起承転結という点で見ても、個性がしっかり表れている曲ですし、シューベルトの中でも一番の大曲です。ヤルヴィは、このオーケストラとベートーヴェン、ブラームス、シューマンと演奏してきて、彼らと同時代のシューベルトの音楽をずっとやりたかったとコメントしていますので、とても期待できますね。

「トルコ風」はモーツァルトの協奏曲の中でも特に人気がありますし、しかもハーンはこの曲について「私の一部です」とコメントを残しているほど大切にされている曲なので、とても聴きごたえがあると思います。

📍最後に、今回の公演について一言お願いします。

今回の組み合わせは本当に最高です。パーヴォ・ヤルヴィは世界で人気を誇る指揮者ですし、しかもドイツ・カンマーとの相性は抜群。さらにヒラリー・ハーンの実力とプログラムのよさも相まって、今回の演奏会は本当に満点の演奏会です！ぜひたくさんの方に聴いてもらいたいです。

九州での公演は宮崎だけ！ これを聴き逃す手はありません！

巻頭コラム Column

反田恭平さんは緊張していた ～ピアノリサイタル鑑賞記～

9月2日、新進気鋭というよりは人気絶頂の若きピアニスト、反田恭平さんのリサイタルを行うことができました。曲はベートーヴェンの三大ソナタ「悲愴」、「月光」、「熱情」です。おそらく32曲のソナタの中で最もポピュラーで、名だたるピアニストたちが演奏し続けてきたこの3曲を、21世紀のリストと評される反田さんがどう聴かせてくれるのだろうか…日本音楽界の旋風児の登場を私だけでなく多くの方が客席で待ち構えていました。

ステージに現れた反田さんはオールバックに近い髪形と無精風の顎ひげで、つかつかと舞台中央のピアノ脇へ。口を真一文字に結んだまま、拍手に応えた一礼でも表情ははぐれませんでした。何だかぶっきらぼうな男だなと思い始めた私の耳に聞こえてきたのは、実に繊細、丁寧な指使いを重ねて溢れてくる鮮烈な音色でした。いずれも技術的には難度の高い曲なのですが、反田さんの軽やかさと激しさを行き来する演奏に、こりやなかなかの男だなと、私は第一印象をあっさり捨てて聴き惚れました。

3曲ともに終盤の盛り上がりは圧巻でした。特に「熱情」の第3楽章では客席の興奮と賞賛の気分の高まりが感じられたほどです。反田さんは相変わらずのぶっきらぼう。大きな拍手にも淡々とアンコール曲を立て続けにこなして舞台袖に消えました。ついに舞台上での一片の笑顔もなしに。これは何か気分を害することがあったのではないかと気になり、彼の楽屋を訪ねてみました。

シャツの前をはだけて出てきた反田さんは満面の笑顔でした。「汗っかきですすみません」と言う彼は実に明るい男で、年齢相応の初々しくはにかんだ顔で「実は昨日9月1日が誕生日で今日は25歳になって初めての演奏です」と照れくさそうに続けました。「ステージではいつもあんなに難しい顔してるの？」と私が尋ねると、「いえ、それはすみません。宮崎は国際音楽祭があつていつもすごい演奏家が来ている。お客さんもレベルの高い方たちだと思いながらステージに立ったので…緊張しました。ほんとに…」と答えました。

「また来てね。次はあなたのショパンが聴きたいね」と言うのと嬉しそうに「ぜひ呼んでください」と言う反田恭平さん。最後に「次回は笑顔もいっしょにね」と言う、若き天才ピアニストの顔には満面の笑みが浮かびました。

公益財団法人宮崎県立芸術劇場 理事長 佐藤寿美

公演情報

UMK クラシックス

ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団

2018年12月16日(日) 開場14:15 開演15:00
アイザックスターンホール

【出演】 パーヴォ・ヤルヴィ(指揮)、ヒラリー・ハーン(ヴァイオリン)、
ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団(管弦楽)

【曲目】 モーツァルト：歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲
モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第5番 イ長調 「トルコ風」 K.219
シューベルト：交響曲第8番 ハ長調 「ザ・グレート」 D944

【料金】 全席指定 S席 12,000円[会員10,800円] A席 9,000円[会員 8,100円]
B席 7,000円[会員 6,300円] C席 5,000円[会員 4,500円]
D席 3,000円[会員 2,700円] U25割 全席種半額
親子割9,500円 ※小・中学生十一歳 (A席のみ)

今

けんげき 25フェス

KENGEKI 25 FES

直前情報

11月17日(土)・18日(日)
に劇場開館25周年を記念して
開催する「けんげき25フェス」。
今回は直前情報をお届け！

けんげき25フェスのチラシを手が
けたデザイナーの脇川祐輔さんに、
チラシのデザインなどについて、お
話を伺いました！

❶ 一番最初に考えたのは何ですか？

一番最初はロゴですね。けんげき25フェ
スの。音がニコッだから、にっこりして
いるのいいな、とか、25という数字に
“にっこり”を合わせたいなあとか。



25フェスロゴのラフ。右下にはお子さんの
落書きも(笑)



最後には丸みを帯
びたにっこりした
ロゴに。

パツと見て、25という数字やにっこり
している顔が伝わるように考えて、落ち着
いた形がこれでした。

❷ チラシに使用されている文字も手書きで すか？

手書きですね。けんげき25フェスのロ
ゴが、上半分が伸びている感じなので、そ
れに合わせて、タイトルやイベントの文字
を手書きで作りました。



文字も手書き！25フェスの
ロゴに合わせて、少し縦長
のデザインに。

❸ メインビジュアルはどのようにしてでき あがったんですか？

最初は太友良英さんが来られるというこ
とで、ギターを弾いている太友さんを中心
に、お祭り感のあるイラストをイメージして
いました。その途中で“音があふれる、物語
が飛び出す！行こう！けんげきへ！”という
キャッチコピーをいただいて、もうちょっと
25フェスの全体が分かるようなイメージに
ならないかなって。そこで、先に作っていた
“てけてけオーケストラ”と“試奏会&リレー



飛び出すような
勢いのあるメイ
ンビジュアルに。



最初はカラフル
な破線で囲むよ
うなシンプルな
イラスト

コンサート”のピアノや楽器などのイラスト
を合体させて、メインビジュアルを作ってみ
ようかなって方向が変わりました。でもイラ
ストを配置してみたら、ばらばら感があつた
んですね。そこでキャッチコピーの“あふ
れる”“飛び出す”イメージみたいなものを
考えて、それとイラストを合わせたらまと
まってきたので、こういう形になったという
感じですね。



脇川祐輔さん

はなうた活版堂のデザイナー。名刺などの紙
ものからWeb、パッケージのデザイン、イラ
スト作成を主に担当している。

はなうた活版堂

〒880-0866
宮崎市川原町5-12 真ん中ビル3階
<http://www.hanauta-kappan.com>



バックステージツアー 参加者大募集中!

普段見ることのできない演劇ホールの舞台裏を見学できるバックステージツアー! 今回は演劇ホールの舞台裏を少しご紹介♪



演劇ホールの天井には、照明や幕をつり下げるためのバトンなどが並んでいます。



バトンなどは、舞台袖と呼ばれる客席から見えないところで操作しています。



ステージ上の人や物の動きに合わせて照明をあてる、客席天井裏にある大きなピンスポットライト。



人が上に乗って照明を調整できるブリッジ。

他にも奈落やオーケストラピットなど、たくさんの見どころがある演劇ホール。どんな場所を見て、どんな体験ができるかは、当日のお楽しみ♪

バックステージツアーの参加申し込みは、
10月31日(水)まで。詳しくは、劇場HPをチェック!
バックステージツアーはコチラから→



けんげき25フェスの準備が着々と進んでいます!



こちらはたいけんゾーンを担当する職員皆さん。たいけんゾーンは、普段劇場の練習室を使って行われている、さまざまな団体・個人の練習を見学・体験できるイベントです! 皆さんに楽しんでいただこうと話し合う職員も楽しげ!



大友良英さんが取材のために、来宮♪メッセージもいただいておりますので、ぜひご覧ください。



18日(日)にはキッチンカーによるフードブースもオープン!

18日(日)の正午から、国民文化祭ブースにみやざき犬もやってきます♪



"500円コンサートの日"のフードブースの様子

動画はコチラから



公演情報

国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭イベント
劇場開館25周年感謝祭 けんげき25フェス

2018年11月17日(土)・18日(日)

① 大友良英 with てげてげオーケストラ

18日(日) 14:00~15:00 アイザックスターンホール
【出演】大友良英、てげてげビッグバンド、
てげてげオーケストラ(ワークショップ参加者)

② みんなで弾こう! リレーコンサート

17日(土) 開場13:30 開演14:00

③ バックステージツアー

※要申し込み
※10月31日(水)締切り
17日(土) 13:00~
18日(日) 〈1〉10:30~ 〈2〉12:30~

④ くらやみシアター

18日(日) 〈1〉開演10:30 〈2〉開演12:30
【演出】黒木朋子 【出演】片山敦郎、川越真也、齊藤麻耶、吉丸裕美

⑤ たいけんゾーン

18日(日) 10:30~16:00

詳しくは



コチラからアクセスできます。



東欧の底力!

～音楽史を支えた東欧の音楽家たち～

今回の舞台は東欧。その東欧・チェコのプラハ放響で首席フルート奏者を務め、クーベリック・トリオとも共演経験を持つ大嶋義実さんにお話を伺いました。

大嶋義実 (フルート・お話)

ウィーン国立音大を最優秀で卒業後、プラハ放送交響楽団首席奏者、群馬交響楽団第一奏者を歴任。現在、京都市立芸術大学・大学院教授。2014年から2018年まで同大学音楽学部長を務める。



❶「東欧」がテーマですが、東欧の音楽のどんな魅力を伝えたいですか？

日本ではクラシック音楽というとドイツ、フランス、イタリア等、大国の作曲家ばかりに目がいきがちです。でも歴史を紐解いてみれば、それら大国の音楽を育み支えた陰の立役者には、チェコ出身の音楽家たちが大勢います。

C.Ph.E. バッハの上司であるベンダ、モーツァルトに大きな影響を与えたシュターミッツ、フランス作曲界の基礎を築いたレイハ、イタリアのヴァイオリン奏法に貢献したミスリヴェエヴァ等名前を挙げればきりがありません。18世紀の音楽史家、英国のチャールズ・バーニーは「ボヘミア(チェコ)はヨーロッパ全体の音楽大学だ」との言葉を残しているほどです。

その背景には、どんな小さな村の子どもたちにも幼いころから分け隔てなく音楽教育を施してきた歴史があるようです。そんなチェコで生まれたドヴォルザークやマルティヌーの音楽を今回演奏します。やはり二人ともボヘミアの小さな村の出身です。チェコ人の音楽を愛する魂が彼らの音楽から聞こえてくるのではないのでしょうか。

❷クーベリック・トリオとも親交が深いと伺いましたが、クーベリック・トリオの魅力を教えてください。

チェコの名指揮者ラファエル・クーベリックは有名ですが、その父親であるヤン・クー



プラハ放響の仲間たちとの1枚

クーベリック・トリオとチェコ・ベルトラムカにて



大嶋さんに聞いた!
チェコの好きどころ

BEST3

- 第1位 とにかくビールがうまい!
- 第2位 ヴルタヴァ河岸から眺めるカレル橋とプラハ城。(まるで映画のワンシーンにたっずんでいるような感覚に!)
- 第3位 音楽。観光客向けのコンサートですらハズレなし!



ある高名なピアニストから「クラシック音楽の主食はドイツ・ロマン派ですよ」と言われたことがあります。なるほど、シューマン、ブラームスを始め主だったロマン派の作曲家はドイツ人ばかり。おまけにバッハやベートーヴェンまでいる。納得していた私に「待った!」をかけたのが、大嶋義実さんの文章でした。「チェコはヨーロッパの音楽学校」という内容。東欧、特にチェコ人がいなければ、クラシックは今の形になっていない、という見解です。歴史は勝者が作る、と云います。この機会に新しい発見と名演奏をお楽しみください。

桐原直子 (ご案内)



ベリックも完全無欠なヴァイオリニストとして一世を風靡した存在でした。チェコではクーベリック家の名は音楽関係者の間である意味、憧れともいえる響きを持っています。ラファエルから直接「クーベリック」の名を冠することを許されたこのトリオは、それだけにいつも音楽ファンに注視されている存在といっても過言ではありません。結成から四半世紀経つ彼らのアンサンブルは、近年ますますその円熟味を増していると言えます。

❸聴きどころを教えてください。

コンサートでは誰もが一度は耳にしたことがあるドヴォルザークの『ユモレスク』やモーツァルトの『トルコ行進曲』を室内楽用に編曲し、オリジナルとは違う響きでお楽しみいただきます。実はプラハの人々は今もモーツァルトのことを「我々のモーツァルト」といいます。というのも当時ウィーンで受け入れられなかったモーツァルトを温かく迎え入れたのはプラハの人々だったからです。モーツァルト自身「連中(チェコの人々)は僕をわかっている」という言葉を残しています。プラハのモーツァルトを想像しながら彼の小品を聴くのも面白いかもしれません。

そんなプラハを訪ねたときの思い出を、

ハンガリー出身のフルート奏者ドツブラーがフルート二重奏にしています。陽気で煌びやかなプラハ(かつては神聖ローマ帝国の首都でもありました)のイメージが膨らむかもしれませんね。

マルティヌーはナチスの迫害に遭い、命からがらアメリカに亡命しましたが、その音楽はいつもポジティブで明るさを失いません。パリでの生活も長く、ボヘミアの素朴さとパリの洒落さが入り混じるちょっとトリッキーな響きが魅力です。

ドヴォルザークの名曲『ドウムキー』については、ボヘミアの哀愁と郷愁がこれほどに心打つ作品は他にありません。とにかく聴いてくださいとしか申し上げられませんが。

浅田結希さん(フルート)からメッセージ



今回、故郷である宮崎で、尊敬する大嶋義実さんと共演させていただけるということで大変光栄であり、また身の引き締まる思いです。東欧にゆかりのある曲ばかりを集めた演奏会は、全国的にみてもとても珍しいものだと思います。皆様と新たな視点でクラシック音楽の喜びを共有できる日を楽しみにしています。

公演情報

シリーズ〈大人のためのコンサート～なるほどクラシック講座〉vol.7
東欧の底力!～音楽史を支えた東欧の音楽家たち～

【出演】クーベリック・トリオ
石川静 (ヴァイオリン)、カレル・フィアラ (チェロ)、クヴィタ・ピリンスカ (ピアノ)
大嶋義実 (フルート、お話)、浅田結希 (フルート)、桐原直子 (ご案内)

◆宮崎公演◆ 12月7日(金) イベントホール
ランチタイム・コンサート～気軽に楽しむお昼の60分～

開場11:00 開演11:30 (60分公演・休憩なし)

【料金】一般・U25割共通1,000円[会員800円]

ソフレ・コンサート～じっくり楽しむ夜の100分～

開場18:30 開演19:00 (100分公演・休憩あり)

【料金】一般2,000円[会員1,800円] U25割1,000円 親子割2,500円

◆西都公演◆ 12月9日(日) 西都市民会館舞台上舞台

開場13:30 開演14:00 【料金】一般2,000円[会員1,800円] U25割1,000円 親子割2,500円

オルガンとその仲間たちシリーズ2018

メサイア

本シリーズの10周年を記念して、2014年に上演し好評を博した、バロック音楽の大家ヘンデルが作曲したオラトリオの最高傑作「メサイア」を再演。今回は総勢約100名での演奏に挑みます。公演の企画・監修と指揮を務める当劇場オルガン事業アドバイザーの大塚直哉さん、そしてソリストの河野幸子さん、領家久美子さんからコメントをいただきました。



企画・監修、指揮

大塚直哉(当劇場オルガン事業アドバイザー)

アイザックスターンホールの正面に鎮座する大オルガン、そしてその兄弟であるポジティブオルガンやチェンバロといった当劇場にある鍵盤楽器たちを囲んでいろいろなアンサンブルを、ということではじまった「オルガンとその仲間たち」のシリーズ。気がついてみたら今年で10回目を迎えることとなりました。ヴァイオリン、トランペット、フルート、そして歌の国「宮崎」らしくすばらしい歌手の方々にもこれまでにご登場いただき、オルガンやチェンバロ

を囲んでいただきました。何年か前からは、公募合唱の皆さんとバロック期の名作を一つずつ取り上げてきています。今年はバロックの声楽作品の代表作ともいえるヘンデルの「メサイア」を取り上げることとなりました。ハレルヤ・コーラスが有名なこの作品、実はハレルヤ以外にも隠れた名曲がたくさんあるのです。宗教的な内容でありながら、最初から礼拝の枠を超えた劇場用の作品として作曲され、またヘンデル自身も晩年はずっと孤児のためのチャリティ・コンサートをこのメサイアで行ってきたという社会派の面も持つ作品です。いろいろなことが起こった2018年を振り返りつつ、新しい2019年の幕開けにここ宮崎でこの作品に取り組めることに喜び、そして重さも感じつつ、300年前に作曲者ヘンデルと台本作家ジェネズが作品のあちこちにひそかに込めたメッセージのうち、なにを会場の皆さまに聴きとっていただけるのか楽しみでなりません。

メサイアってどんな作品？

台本作者チャールズ・ジェネズが聖書を題材にキリストの生涯を綴った台本「メサイア」に、バロック音楽の重要な作曲家の一人、ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル（1685-1759）が作曲。ヘンデルが作曲したオラトリオ（聖書などの物語を題材として独唱・合唱・管弦楽のために構成された、バロック音楽を代表する楽曲形式）の最高傑作であり、特に第2部の最後で神をたたえる「ハレルヤ・コーラス」は日本でも有名。

河野幸子さん（ソプラノ）



「メサイア」は、華やかな曲です。きらきら輝くイメージで、明るく軽やかな曲ですので、歌っていてとても楽しいですし、もちろん聴いていてもうっとりするような綺麗な曲です。2014年に劇場で上演された時は、ソリスト十数名の少人数スタイルでしたが、今回は合唱団が70人ぐらいいるので、また違ったものになると思います。有名なハレルヤ・コーラスを楽しんでもらいたいですし、2019年最初のコンサートになるので、一緒に新年を盛り上げられたらと思います。

領家久美子さん（アルト）



2014年の劇場主催の「メサイア」に参加して、本当に素晴らしい楽曲だなと思いました。物語がどんどん展開していく楽しさがあり、どの曲をとっても歌っていても聴いていても楽しいですし、イエス様が迫害を受けた時の悲しさや人の醜さとか、さまざまなものが作品に表現されていて、壮大な作品です。ハレルヤ・コーラスを知っている方には、ぜひメサイアの中でハレルヤ・コーラスがどういう位置づけなのかを知っていただきたいです。構えず気軽に聴きにきていただけたらと思います。

2014年に劇場で上演した「メサイア」のお客様の感想をご紹介します

- ・とても素晴らしい演奏でした。感動で鳥肌が立ちました。美しい歌声をありがとうございました。（40代・女性）
- ・大塚直哉さんの指揮が見事で、上質の「メサイア」は至福のひとつでした。期待をはるかに超えた演奏でした。（70代以上・女性）
- ・素晴らしく、長い演奏でも退屈せず終始感動して聴きました。（70代以上・男性）

公演情報

オルガンとその仲間たちシリーズ 2018

メサイア

2019年1月13日（日） 開場13:30 開演14:00
アイザックスターンホール

【出演】大塚直哉（企画・監修、指揮）

12名のソリスト、オルガンとその仲間たちシリーズ合唱団、古楽器オーケストラ

【料金】全席指定 一般2,500円 [会員2,200円] U25割1,500円 親子割3,000円

メディキット県民文化センター（宮崎県立芸術劇場） 自主事業公演チケット情報

11月3日(土・祝) 開場13:30 開演14:00 アイザックスターンホール	Premium Select Concert #10 サクソフォンを聴く ～Quartet×カルテット=∞の響き～ 出演：＜ハバナラ サクソフォン・カルテット＞ クリスチャン・ヴィルトウ スミルヴァン・マレズー ファブリツィオ・マンクーゾ ジル・トレソス ＜ブルーオーロラ サクソフォン・カルテット＞ 平野公崇 田中拓也 加藤里志 本堂誠 全席指定 一般3,500円〔会員3,100円〕 U25割1,500円 親子割4,000円 ペア割6,000円〔会員5,400円〕 ※前売りのみ チケット発売中
11月14日(水) 開場18:00 開演18:30 演劇ホール	ゲゲゲの先生へ 原案：水木しげる 脚本・演出：前川知大 出演：佐々木蔵之介 松雪泰子 水田航生 水上京香 手塚とおる 池谷のぶえ 浜田信也 盛隆二 森下創 大窪人衛 白石加代子 チケット完売
12月1日(土) 開場10:30 開演11:00 アイザックスターンホール	パイプオルガン プロムナード・コンサート vol.161 オルブラ 出演：勝山雅世（オルガニスト） 花澤絢子（オルガニスト） 伊豆諺子（司会） 全席自由 4歳以上500円 なかよしチケット700円※4歳以上2人1組、前売りのみ チケット発売中
12月7日(金) 【宮崎公演】 開場11:00 開演11:30 開場18:30 開演19:00 イベントホール	シリーズく大人のためのコンサート～なるほどクラシック講座＞vol.7 東欧の底力！～音楽史を支えた東欧の音楽家たち～ ◆ランチタイム・コンサート～気軽に楽しむお昼の60分～ 全席自由 一般・U25割共通1,000円〔会員800円〕 ◆ソワレ・コンサート～じっくり楽しむ夜の100分～ 全席自由 一般2,000円〔会員1,800円〕 U25割1,000円 親子割2,500円 チケット発売中 詳細はP5
12月9日(日) 【西都公演】 開場13:30 開演14:00 西都市民会館舞台上舞台	全席自由 一般2,000円〔会員1,800円〕 U25割1,000円 親子割2,500円 出演：クーベリック・トリオ 石川静（ヴァイオリン） カレル・フィアラ（チェロ） クヴィタ・ピリンスカ（ピアノ） 大嶋義実（フルート、お話） 浅田結希（フルート） 桐原直子（ご案内）
12月16日(日) 開場14:15 開演15:00 アイザックスターンホール	UMKクラシックス ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団 出演：パーヴォ・ヤルヴィ（指揮） ヒラリー・ハーン（ヴァイオリン） ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団（管弦楽） 全席指定 S席12,000円〔会員10,800円〕 A席9,000円〔会員8,100円〕 B席7,000円〔会員6,300円〕 C席5,000円〔会員4,500円〕 D席3,000円〔会員2,700円〕 U25割全席種半額 親子割（A席のみ）9,500円 チケット発売中 詳細はP1-2
2019年 1月13日(日) 開場13:30 開演14:00 アイザックスターンホール	オルガンとその仲間たちシリーズ2018 メサイア 出演：大塚直哉（企画・監修、指揮） 12名のソリスト オルガンとその仲間たちシリーズ合唱団 古楽器オーケストラ 全席指定 一般2,500円〔会員2,200円〕 U25割1,500円 親子割3,000円 チケット発売中 詳細はP6

Attention（ご注意）

- ◎記載情報は変更になる場合があります。 ◎割引サービスの詳細は、劇場HPをご覧ください。
- ◎当日券が出る場合は、一般チケットのみ500円増になります。※一部公演除く
- ◎託児サービス（有料・事前申込要）がご利用いただけます。※一部公演除く

劇場の
HPはコチラ！



メディキット県民文化センター
（宮崎県立芸術劇場）

国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭プレイベント 劇場開館25周年感謝祭 けんげき25フェス

詳細はP3-4

11月17日（土）、18日（日）メディキット県民文化センター

①大友良英withてげてげオーケストラ

18日（日） 14:00～

会場：アイザックスターンホール

出演：大友良英、てげてげビッグバンド、
てげてげオーケストラ
（ワークショップ参加者）

<詳細はこちら>



②みんなで弾こう！ リレコンサート

17日（土）

会場：アイザックスターンホール

開場13:30 開演14:00

③バックステージツアー

17日（土） 13:00～

18日（日）〈1〉10:30～ 〈2〉12:30～

④くらみシアター

18日（日）

〈1〉開演10:30 〈2〉開演12:30

演出：黒木朋子
出演：片山敦郎 川越真也
齊藤麻耶 吉丸裕美

⑤たいけんゾーン

18日（日） 10:30～16:00

詳しくはチラシ、または劇場HPをチェック！

けんげき25フェス

検索

『いつも誰かが』 佐藤寿美 著

昨年11月から宮崎日日新聞社の「窓」面シリーズで連載しておりました、当劇場の館長・佐藤寿美の自分史『いつも誰かが』。多くの方から「ぜひ本にしてほしい」との声をいただき、このたび1冊の本になりました。ただいま、劇場の1階窓口で絶賛販売中です。ご希望の方は、スタッフまでお気軽にお問い合わせください。



お問合せ



宮崎県立芸術劇場
MIYAZAKI PREFECTURAL ARTS CENTER

〒880-8557 宮崎市船塚3-210
http://www.miyazaki-ac.jp

TEL.0985-28-3208 FAX.0985-20-6670

facebook随時更新中！「フォロー」と「いいね！」お待ちしています。